

学部
学年
番号
氏名

() に下記の語群から最適なものを選び、その番号を記入しなさい。
繰り返し使用可。

1. カントの語る() においては、意志は自分で自分に課する法則にのみ従う。要するに() である。

2. 20世紀の心理学者() の語る道徳発達では、() は子どもが親の権威に従順して行為決定している時期、() は親の権威を離れて、自己の欲求に基づいて、あるいは自分で理由を意識して行為を決定する時期として述べられている。

3. () は近代教育。近代教育学の発生前において、() を増強して働き出すことによって、教育的かかわりの持つ根本的なジレンマを浮き彫りにした。

4. 自分の行為を自己決定できるためには、自分の環境での出来事や事柄の() が分からなければならない。それなくしては対処する行為決定もしようがないからだ。

5. 経験や教育で得られた() が蓄積され、それがある時点で臨界点を達して、一定の構造化を伴った() を立ち上げる。このとき、蓄積べき要素が過剰な場合は() や() によって情報圧縮がされる。

6. () によれば、人間の経験や思想は、彼が() と呼ぶ知の歴史の流れの中で決定されていくものである。

7. () を抜け出して、() に完全に取り込まれてしまうまでの間隙にこそ、個人システムの自律の場がある。

語群

- | | | |
|--------------|------------------|---------------|
| 1. ヴィゴツキー | 2. ラカン | 3. フーコー |
| 4. デリダ | 5. カント | 6. ルソー |
| 7. メルロー＝ポンティ | 8. フッサール | 9. ピアジェ |
| 10. 自律 | 11. 自立 | 12. 依存 |
| 13. 他律 | 14. 権威 | 15. 意味 |
| 16. 統合的知識 | 17. 断片的知識 | 18. 純粋知識 |
| 19. ジャンル | 20. カテゴリー | 21. 全体性としての世界 |
| 22. 宇宙としての世界 | 23. 自然としての世界 | 24. バクタン歸納 |
| 25. 指標認識 | 26. 名 | 27. 生物学的前個人性 |
| 28. 生命的神秘性 | 29. 社会立法 | 30. 社会システム |
| 31. 国家体制 | 32. エピステマー | 33. パラダイムシフト |
| 34. 社会立法 | 35. 自己立法 | 36. 自主管理 |
| 37. 教師の隠れた配慮 | 38. 学校の隠れたカリキュラム | |